

授業科目	心理学と心理的支援Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士 精神保健福祉士		ナンバリング	WE21402J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	<p>心理学は、「心の学問」である。心理学は、「人がなぜそのようにふるまうのか」といった心の仕組みを解き明かす基礎的な側面と、心を支援したりする技術を提供する応用的な側面をもっている。心の支援を行うためには、基本的な心の仕組みを基礎として理解しておくことが必要である。</p> <p>『心理学と心理的支援Ⅰ・Ⅱ』では、心理学を体系的に学び、基本的な心理学の知識を身につけることを目的とする。</p> <p>後期『心理学と心理的支援Ⅱ』では、学習、感覚・知覚、注意・記憶、言語・思考、社会的行動など「心理学」の基礎として重要な分野を取り扱う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習について説明することができる。(DP1-1)</li> <li>2. 感覚、知覚について説明することができる。(DP1-1)</li> <li>3. 注意、記憶、思考について説明することができる。(DP1-1)</li> <li>4. 感情、動機づけと欲求について説明することができる。(DP1-1)</li> <li>5. 自己と他者、対人関係、集団等の枠組みで社会行動を説明することができる。(DP1-1)</li> <li>6. 脳と神経系の仕組みと機能について説明することができる。(DP1-1)</li> <li>7. 日常生活で経験する様々な現象に関心を持ち、心理学の知識と結びつけようと努力することができる。(DP3-1)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	70						70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			30				30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
心理学の基本的な知識をよく理解し、現実場面のさまざまな問題を考える時に応用することができる。 心理学の考え方や理論について、授業で学んだ内容を手がかりとして、さらに調べ、知識を広げることができる。				心理学の基本的な知識を身につけ、それを人に説明することができる。 心理学の考え方や理論について、人に説明することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション・学習① 条件づけ 学習とは、古典的條件づけ、オペラント条件付けについて解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
2	テーマ:学習② 認知的学習 馴化、刷り込み、その他の学習について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
3	テーマ:感覚・知覚①感覚 感覚、精神物理学、錯覚について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
4	テーマ:感覚・知覚② 知覚 知覚の恒常性、形の知覚、奥行き知覚について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
5	テーマ:記憶・思考① 注意と記憶 注意、記憶の過程、短期記憶、長期記憶、忘却について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
6	テーマ:記憶・思考②記憶、言語と思考 記憶の区分、言語と思考、スキーマ、表象、問題解決について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
7	テーマ:感情・動機づけ① 感情 感情、感情の古典的理論、感情の伝達について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
8	テーマ:感情・動機づけ② 動機づけと欲求 動機づけ、欲求階層説、内発的動機づけと外発的動機づけについて解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
9	テーマ:社会行動① 自己と他者 自己概念、自己開示と自己呈示、態度と態度変容について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
10	テーマ:社会行動② 対人行動 印象形成、帰属過程、対人魅力、社会的促進と社会的手抜き、援助行動について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
11	テーマ:対人行動③ 集団と個人 同調、集団意志決定、リーダーシップ、集団間関係について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
12	テーマ:心と脳① 神経系 脳の働き、神経細胞、シナプス伝達について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
13	テーマ:心と脳② 認知機能の障害 認知機能の障害、視覚認知の障害、言語の障害、記憶の障害について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30

14	テーマ:認知心理学の研究の広がりと応用 知覚、記憶、学習、言語、思考などの認知過程の仕組みを解明してきた認知心理学の応用分野について解説する。	講義 小レポート	予習:テキストの該当箇所を読む。 復習:テキストと授業資料を見直す。	30
15	テーマ:まとめ 心理学と心理的支援Ⅱにおいて学んだことを振り返る。	講義 小レポート	復習:テキストと授業資料を見直す。	120
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし。 『心理学と心理的支援Ⅰ』を受講していることが望ましい。			
テキスト	『エッセンシャル心理学』長谷川千洋編 ナカニシヤ出版(2020)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>●情報量の多い、充実した概論書●</p> <p>『心理学概論第2版』岡市廣成・鈴木直人監修 青山謙二郎・神山貴弥・武藤崇・畑敏道編 ナカニシヤ出版(2014)</p> <p>『心理学』無藤隆・森敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治著 有斐閣(2004)</p> <p>『心理学 第5版補訂版』鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃・河内十郎編 東京大学出版会(2020)</p> <p>●情報量が絞られ、手に取りやすい概論書●</p> <p>『心理学概論 ころを科学する 第2版』吉崎一人・松尾貴司・斎藤和志編著 ナカニシヤ出版(2019)</p> <p>『心理学をつかむ』今井久登・平林秀美・工藤恵理子・石垣琢磨著 有斐閣(2009)</p> <p>『心理学』鈴木常元ら 編 新曜社(2014)</p> <p>『心理学への招待 人間理解の科学 第2版』鈴木清編 ナカニシヤ出版(2002)</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	書店や図書館等で参考になる書籍を探してみてください。心理学に関する書籍は数多く出版されています。各書籍とも心理学の知識を伝えようと、様々な工夫が凝らしてあります。自分の読みやすいテキスト、自分の知りたいことがもっと詳しく説明されているテキストは他にもあるかもしれませんよ。 また、日常場面での体験と、授業で学んだ内容を結びつけてみてください。心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験の内容については、授業中に詳しく説明する。 小レポート(30%)と試験(70%)にて評価する。 成績発表後に、評価点分布図を提示する。